

小学校 第1学年 図画工作科 「すきまちゃんのすきなすきま」

育成を目指す資質・能力について

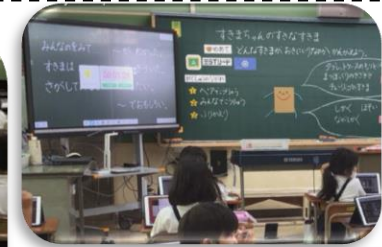
ミライシード(オクリンク)とは、情報教育推進校で先行的に導入している学習支援システムであり、タブレットで撮影した写真をオクリンクを用いて提出することで、全員の写真を一覧画面で見ることができるなど授業支援を行うことができます。

ICT機器を活用することで、限られた時間の中で鑑賞する視点を明確にもち、たくさんの作品を鑑賞することが可能となりました。鑑賞して感じたことや思ったことを伝え合う活動がより充実し、児童の造形に対する見方や感じ方を広げることができました。

・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。【思考・判断・表現】

事例の概要

流れ	児童	教師
①	前時までの振り返りを行う。 お気に入りの隙間を見つけ、タブレット端末のカメラ機能で撮影したことを振り返る。	電子黒板を使って、児童の作品(児童のつけた隙間)をいくつか紹介する。
②	学習のめあてをつかむ。	電子黒板に映した児童の作品をもとに、鑑賞する際のポイントを説明する。
③	作品をペアで鑑賞し合う。 タブレットで撮影した写真をペアで見せ合い、お互いの作品を鑑賞する。 ミライシード(オクリンク)に写真を提出し、クラスの友達の作品を鑑賞する。	ミライシード(オクリンク)の操作方法を電子黒板を活用して、明確に指示する。
	ミライシード(オクリンク)に提出されたクラスの友達の作品を自由に鑑賞し、作品の面白さや楽しさを味わわせる。	
④	友達の作品の面白さや楽しさをワークシートに記述する	作品の面白さや楽しさはワークシートを活用して、書き記す。
⑤	全体で交流する。	
⑥	振り返りをする。	



【事例におけるICT活用のポイント】

- ①電子黒板に児童の作品を映し出し、画面上にポイントを書き込むなど、鑑賞する際の視点を明確にする。
- ②ミライシード(オクリンク)の使い方を指導する際には、教師用タブレットの画面を電子黒板に写し、操作方法を明確に指示する。
- ③タブレットに映し出された作品を鑑賞する時間と作品の面白さや楽しさをワークシートに記述する時間とのバランスを大切にする。

【活用したソフトや機能】 電子黒板 カメラアプリ ミライシード(オクリンク)